

防げ振り込め詐欺

看板を警察に寄贈

振り込め詐欺を防止しようと、栃木市の娯楽業五月女善重社長(43)と博勇会長(65)が、「振り込め詐欺撲滅運動実施中」「家族に相談 警察に通報」と標語が書かれた看板40枚を栃木署に寄贈した。同署は、無人の現金自動預け払い機(ATM)コーナーや福祉施設などに設置することをしている。

五月女社長は、「身近な人から被害に遭いそうになったという話を聞いた。多くの人に被害防止を呼びかけたい」と話し、大野繁署長は「人目のつくところに設置し、詐欺を100%阻止できるような取り組みたい」と感謝していた。